

# 戦国のひとびと 一人の秀頼

## 1615年(慶長20)「大坂夏の陣」の落城とともに自刃したとされる、 右大臣豊臣秀頼が“実は生きていた…”

各地に存在するという「秀頼生存伝説」を題材として、大佛次郎は1937年(昭和12)小説「生きてゐる秀頼」(挿絵:勝田哲)を執筆しました。それから26年の後、再び同じモチーフで「月の人」(後に「月から来た男」と改題)という、まったく別の作品を発表しています(1963-64、挿絵:佐多芳郎)。大佛次郎を、そこまで駆り立てたものとは何だったのでしょうか。

二作に共通するキーワードは、大佛自身が「ロマン精神」と表現した、奔放な想像力によって紡がれた物語世界です。本展では、この二つの“秀頼をめぐる物語”を中心に、小説や歌舞伎の戯曲として執筆された、数々の作品を取り上げます。晩年にいたるまで大佛次郎が問い続けた、大衆小説にふさわしいロマンチズムとは何か。作品執筆の背景と戦国を舞台にした大佛作品の“面白さ”にせまります。



時代蒔絵聖餅箱  
\*聖餅箱とはカトリック教会などで聖餅式に用いるパン(聖体)をおさめる箱。



佐多芳郎《献花》紙本着色, 1951年

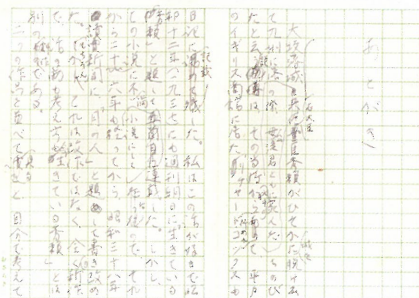


鳥居忠雅《海北友松》芝居絵  
1957年5月歌舞伎座公演



勝田哲挿絵「生きてゐる秀頼」第13回  
「週刊朝日」1937年3月28日号より

※資料保護のため、会期中に一部資料展示替えを行います。  
※所蔵表記のないものは大佛次郎記念館蔵です。



大佛次郎  
「月から来た男」  
「あとがき」

### 佐多芳彦 講演会「父・佐多芳郎を語る」 & 佐多芳郎《浮舟》特別公開

「豊臣兄弟!」他、多くのNHK大河ドラマで風俗考証を手掛けた有職故実の研究者・佐多芳彦氏が、日本画家の父・佐多芳郎(1922-1997)とその作品について語ります。当日は講演会の参加者限定で、NYのメトロポリタン美術館で展示された屏風、佐多芳郎《浮舟》を特別公開。この機会をお見逃しなく!

- 【講師】佐多芳彦(立正大学文学研究科史学専攻教授)
- 【日時】2026年7月4日(土)、18:30～(開場18:00、イベント終了予定20:00)
- 【会場】大佛次郎記念館
- 【定員】30人(先着)
- 【参加費】2,000円(全席自由 大佛次郎記念館当日の入館料含む)
- 【申込方法】2026年4月25日(土)10:00より、チケットぴあにて発売(チケットぴあPコード660-221)
- 【お問合せ】大佛次郎記念館 045-622-5002



1961年「炎の柱」取材旅行にて  
左:佐多芳彦, 右:大佛次郎



チケットぴあはこちらから▲



- みなとみらい線(東急東横線直通)で:元町・中華街下車(元町方面改札)/6番出口(駅直結のエレベーター・エスカレーターを利用、アメリカ山公園経由)/5番出口(谷戸坂経由)いずれも徒歩8分
- JR線根岸線で:石川町駅下車(元町口)徒歩20分
- 神奈川中央交通バス11系統(桜木町駅～保土ヶ谷駅東口)
- 市営バス20系統(桜木町駅～山手駅)
- 観光スポット周遊バス「あかいくつ」  
いずれも港の見える丘公園前で下車、徒歩2分

## 大佛次郎記念館

(公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団)  
The Osaragi Jiro Memorial Museum

〒231-0862 横浜市中区山手町113(港の見える丘公園内)  
TEL:045-622-5002 FAX:045-622-5071  
https://osaragijiro-museum.jp

※イベント詳細は当館HPでご確認ください。

### 次回展示予告

2026/8/29(土)～12/27(日)「猫へのまなざし、こどものおはなし(仮)」

展示解説 第2土曜日 14:00～約30分

5/9、6/13、7/11、8/8

たてものミニ・ミニトーク 第3土曜日 14:00～約15分

5/16、6/20、7/18、8/15

2026年度テーマ展示 I

# 戦国のひとびと 一人の秀頼

「秀頼様は薩摩または琉球に逃げたと知らせがあった。  
果たして、ほんとうだろうか」

—— 1615年7月27日 リチャード・コックスの日記  
『月の人』より

或説云時ニ薩州谷山ニ来リ居ル者アリ  
長高クシテ色白シ鬚貴ノ相アリ

邑人疑テ秀頼ナラントイフ子孫アリ  
農民タリ此トコロヲ称シテ木下門ト云フ  
——『西藩野史 卷十六』18世紀中頃



2026年  
4月25日(土)～8月16日(日)

前期:4/25(土)～6/21(日) 後期:6/23(火)～8/16(日)

佐多芳郎 挿絵「月の人」『白描画冊』より

おさらぎじろうきねんかん  
**大佛次郎記念館** (公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団)  
The Osaragi Jiro Memorial Museum



〒231-0862 横浜市中区山手町113(港の見える丘公園内)  
TEL:045-622-5002 FAX:045-622-5071 <https://osaragijiro-museum.jp>

開館時間/4～9月 10:00～17:30(最終入館17:00)  
休館日/月曜日(月曜祝日の場合は開館、翌平日に休館)  
観覧料/一般 200円、中学生以下 無料、20名以上の団体は150円  
\*横浜市内在住の65歳以上の方は100円(演ともカード等をご提示の場合)  
\*障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料  
\*毎月23日(市民の読書の日)と第2、第4土曜日は高校生以下無料

協賛:株式会社浦辺設計/大佛次郎研究会/横浜高速鉄道株式会社 広報協力:株式会社ボンパドウル